

議 事 録

1	会議名	第8回富士見市基本構想審議会
2	開催日時	平成22年6月2日（水）13時30分から16時30分
3	出席者名	委員：市川正三委員、市川浩委員、伊藤悦子委員、小山健次郎委員、渋谷義衛委員、清水實委員、田中洋子委員、根岸由紀子委員、柳田政男委員 市側：斉藤総合政策部長、斉藤政策財務課長、政策財務課（事務局）
4	傍聴者	1名
5	次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 協議事項：富士見市第5次基本構想素案について 4. 閉会
6	決定事項等	・ 基本構想素案について、基本目標1～3の文言等について検討を行った。
7	議事内容	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日は前回に続いて、基本構想の中身について協議していただく。素案には、前回の審議会で委員の皆様からいただいた意見や分野別懇談会の意見が反映されている。 ・ できるだけ今月残り2回の審議会でまとめるよう、ご協力いただきたい。 <p>事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新井委員より5月25日付けで、一身上の都合により、辞職の申し出があったので報告させていただく。 ・ 新井委員から、辞職の申し出があったということだが、今後、委員の補充については、事務局としてどう考えているのか。 ・ 審議会も基本構想素案の検討に入っておりかなり進んでいる。1名欠員ということで進めていきたい。 ・ 新井委員の辞職と1名欠員のまま審議会を進めていくことについて何かご意見があれば伺いたい。 ・ （特に無し） ・ 5月11、13、14日の分野別懇談会では計105名の方に出席いただいたほか、5月15日には中学生に集まってもらって意見をいただいた。いずれの会議も活発な意見交換ができた。頂いた意見は幅広く計画策定に活かしていきたい。

	たい。
	3. 協議事項
事務局	事務局説明 (基本構想素案の施策体系・将来人口について事務局から説明) <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民会議の意見や庁内会議などの意見も踏まえて素案とした。 ・ 将来都市像は今月の審議会の中で示す予定である。 ・ まちづくりを行う上で「人」が大切であるという主旨から、基本目標の各タイトルに「人」という文言を入れた。また、章立てを7章から6章に変更した。
委員一同	質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・ (異議なし)
事務局	事務局説明 (基本目標1「未来を担う子どもを育み、育ちあう人のまち」について事務局から説明)
委員	質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「育ちあう」について意味合いは分かるが、日本語として正しい使い方か。 ・ 基本構想は多くの人に読んでもらうものである。言葉の持つ意味、あるいは伝えたい願いなどがしっかり伝わる表現が大切である。 ・ また「青少年の居場所づくり」とは具体的にどういうことか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「育ちあう」については、子育てを通じて親自身も成長し、お互いに育ちあうという意味が含まれている。 ・ 青少年の健全育成で実際に実施していることとして、青少年の市民会議や発表会、県独自の取組みである青少年育成のための相談員などがある。児童館でも月1回土曜の夜に、中学生が集まって相談したり、食事をしたりする場がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市で様々な相談などやっているが、若い人を相手にした相談場所があるとよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年を対象とした特別な相談は行っていない。小中学校では、学校の教職員やふれあい相談員が対応している。青少年相談員は主に小学生を対象としており、高校生の相談の場はないと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生からの相談が多いので、その層を対象とした受け皿がほしい。素案には良い言葉が書かれているので、具体的な取組みがあればなおよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPOなどでは高校生を対象とした取組みを行っている。具体的な施策については、基本計画の中で整理していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校でボランティア活動を行っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会の中に高校生のボランティアグループがある。先ほどの児童館での活動もボランティアである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の点検活動にも学生のボランティア団体が関わっている。

委員 渋谷会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのような活動を広報で示して、大々的に取り組むべきである。 ・ そのほか、びん沼でもごみ拾い活動を実施している。 ・ 子どもとごみ拾いをすると、ごみを捨てなくなる。無言の教育となるので、家族ぐるみのボランティア活動はよい。そのような具体的な活動を示してほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災の仲間づくりにおいて、中学生の参加を呼びかけている。初めて行ったが、反応がよかった。防犯などには若い人の力が必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのような発言がまさに青少年の居場所を作ったのではないか。大人が率先して居場所を作るべきである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先日のウォーキング大会などで、中高生に働きかけて交通整理をしてもらうことなどもひとつの居場所作りでは。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の役割があるのは大変だが、嬉しいと思う。地域の人が役割を与える仕組みは、昔はあったが現在では少なくなったように思う。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日、委員から出た意見をまとめて、これらを基本計画などに盛り込めれば、より分かりやすくなる。
事務局 渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な施策の段階で活用させていただく。 ・ 基本目標1について、表現に関しては概ね了解することとする。
事務局	<p>事務局説明 (基本目標2「健康で生きいき、相互に支えあう人のまち」について事務局から説明)</p>
事務局	<p>質疑応答</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「相互に支えあう」を「互いに」に変更することはいかがか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相互というのは1対1、互いにはより広い支えあいのイメージがある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「特定健診」とは「特定健康診断」を略したものか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ その通りである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ (4)「高齢者福祉の充実」の「市民・行政・関係機関の連携」の機関は医療機関のみを指すのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護関係の機関も含まれる。医療機関だけではない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表的な機関を挙げて「等」をつけたらどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ それだけでは言い表せないので「関係機関」としている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「相互に」の方が、責任を持つのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 字のバランスとしても「相互」の方がよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ (6)「社会保障の充実」の「健全な運営」は当たり前のことではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健全な運営の定義は難しいが、働いている層とサービスを受けている層がある。税金を投入せざるを得ないこともあるので、それらのバランスをとって「健全」という表現にしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事実として、二重行政や縦割り行政の制度をくぐって不正をする事例もある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残念なことではあるが、生活保護についても、全国的にはそのようなことがあると聞く。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「適切な運用」だけでなく、具体事例も示せたらよい。 ・ 生活保護については、就労指導員の導入を検討している。 ・ 60歳前後は仕事がないことも多い。ハローワークを訪れる人が増えている。 ・ 行政は大きな支援をすべきであり、個人の支援を行うと市民の依存心が強くなってしまう傾向があると思う。 ・ あくまで自立を支援すべきであり、その点を十分認識するとともに、理解を促していく必要がある。 ・ 具体的な話になるが、受給者への訪問はどのように行うのか。 ・ 民生委員が近所にいるので、生活形態はよく見ていただいている。 ・ 富士見市の生活保護の現況はどうなっているのか。 ・ 平成20年度実績で約672世帯、年間受給額が約16億円である。 ・ 国が75%、市が25%を負担している。 ・ 不満や不公平感を持つ人がいると想定すると、「適切な運用」や「健全な運営」などの文言を入れておいた方がよい。 	
事務局		
渋谷会長		
委員		
渋谷会長		
委員		
事務局		
委員		
事務局		<p>事務局説明</p> <p>(基本目標3「生涯にわたる学習により、心豊かに輝く人のまち」について事務局から説明)</p>
委員		<p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (5)「文化財の保存と活用」について、市内を案内するボランティアはあるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難波田の資料館にいる。 	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の職員か。 	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民である。 	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そういう人がたくさんいて、市民と共にまちづくりを進めていく必要がある。 	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、市民大学が中心となり、「富士見検定」の検討を行っている。本市の歴史や水、木などの尊い資源を市民に知ってもらいたい。このような活動を通して、市への愛着、関心を高め、まちづくりに還元できる仕組みづくりになればと思う。また、新たな本市の産業を発掘できたらよいと思う。 ・ (4)「スポーツ・レクリエーションの推進」について、スポーツ施設の現状を考えると、直す必要がある箇所もある。「施設の整備・充実」の文言を加えていただきたい。 ・ また、高齢者のスポーツに対する要望が高まっているので、そちらについても該当する文言を入れてもらえればよい。 	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者については「誰もが」に含まれているのではないか。 	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「施設の整備・充実」の文言追加については、検討する。 ・ 高齢者については「誰もが」に含まれているものと考えている。 	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内のサイクリングロードはとてもよいが、休憩場所や日陰がない。 	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ その点については、現在検討しているところである。 	

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の人には気づいていないが、富士山が見える場所など、市の魅力的な観光資源は結構ある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の活性化、観光資源対策として現在、桜のオーナー制度に取り組んでいると思うが、その辺りの運用をしっかりと進めていく必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昔は人が集え、休める木陰があった。桜だけにこだわるのではなく、広く木を整備してはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩所など諸条件を考えると、景色を売り物にして道の駅を作るという取組みが効果的でよいと思う。
事務局 渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の取組みについては、基本計画の検討の中で整理していきたい。 ・ 本日は以上とする。次回はまちづくり関係の報告及び基本目標6まで検討することとする。 <p>4. 事務連絡・閉会</p>
8 会議資料	
資料：富士見市第5次基本構想素案	
資料：第7回審議会会議録	